答申個第130号
令和5年8月25日

京都市長様

京都市情報公開・個人情報保護審査会
会長 北村 和生
(事務局 総合企画局情報化推進室情報管理担当)

京都市個人情報保護条例第36条第1項の規定に基づく諮問について（答申）

令和4年12月8日付け行総庁第11号をもって諮問のありました下記のことについて、別紙のとおり答申します。

記

自身と職員とのやり取りに係る記録の不存在による非開示決定事案（諮問個第320号）

1 審査会の結論

処分庁が行った不存在による非開示決定処分は妥当である。

2 審査請求の経過

(1) 審査請求人は、令和4年10月21日に、処分庁に対して、京都市個人情報保護条例（以下「条例」という。）第14条第1項の規定により、「庁舎管理課が保有する令和2年4月から現在に至るまでの請求者本人と職員とのやり取りに係る記録」の個人情報の開示を請求した（以下「本件請求」という。）。

(2) 処分庁は、本件請求に係る公文書を保有していないため、不存在による非開示決定処分（以下「本件処分」という。）をし、令和4年11月4日付けで、その旨及びその理由を次のとおり審査請求人に通知した。

（理由）

市民対応における対応記録は、市民対応を行った際に必ず作成しているものではなく、本件請求に係る公文書については、作成及び記録していないため。

(3) 審査請求人は、本件処分を不服として、令和4年11月22日に行政不服審査法第2条の規定により、処分の取消しを求める審査請求をした。

3 審査請求の趣旨

審査請求の趣旨は、本件処分の取消しを求めるというものである。

4 処分庁の主張

弁明書及び審査会での職員の説明によると、処分庁の主張は、おおむね次のとおりであると認められる。

(1) 本件請求に係る公文書について

本件請求に係る文書は、庁舎管理課が保有する令和2年4月から請求日（令和4年10月21日）までの審査請求人と職員とのやり取りに係る記録である。

(2) 本件請求に係る文書が存在しないことについて

令和2年4月以降に庁舎管理課が行った審査請求人との対応内容については、その場で用件が終了するものであり、改めて対応する必要がないものと判断し、口頭で担当内において共有しており、記録を作成していないため、請求に係る公文書は存在しない。

(3) 以上のとおり、本件処分に違法又は不当な点はない。

5 審査請求人の主張

審査請求書における審査請求人の主張によると、審査請求人の主張は、おおむね次のとおりであると認められる。

(1) 本件処分は、「京都市職員倫理憲章」違反に基づいた著しく不合理な処分である。

(2) 庁舎管理課職員は、少なくとも令和3年4月2日以降の面談記録を隠蔽し、また審査請求人に対し事実に基づいて調査・報告をしていない。また、令和4年10月、条例違反等の違法な処分を追認した。

(3) 庁舎管理課自体、自身の管理すら満足にしていない。

6 審査会の判断

当審査会は、処分庁の主張及び審査請求人の主張を基に審議し、次のとおり判断する。

(1) 本件請求に係る文書について

審査請求人の求める文書は、庁舎管理課が保有する令和2年4月から請求日までの審査請求人と職員とのやり取りに係る記録である。

(2) 本件処分について

ア 処分庁は、令和2年4月以降に庁舎管理課が行った審査請求人との対応内容については、その場で用件が終了するものであり、改めて対応する必要がないものと判断し、口頭で担当内において共有しており、記録を作成していないため、請求に係る公文書は存在しないと主張する。

イ 一方、審査請求人は、庁舎管理課職員は、少なくとも令和3年4月2日以降の面談記録を隠蔽し、また審査請求人に対し事実に基づいて調査・報告をしていないと主張する。

ウ 一般に、市民等の対応においては、継続的に対応が必要となる場合には、当該経過を記録するケースが多いと考えられるが、その場で対応が完了する場合には、当該対応について記録を作成しないことが多いと考えられる。

当審査会としては、本件事案がその場で用件が終了したものであり、また口頭で担当内の共有に留めたものであることから、このような場合に記録を作成していないと処分庁の主張に特段不自然な点はないと判断する。

(3) 結論

以上により、「1 審査会の結論」のとおり判断する。

(参 考)

1 審議の経過

令和4年 12月 8日 諮問

12月23日 諮問庁からの弁明書の提出

令和5年 7月19日 諮問庁の職員の口頭理由説明（令和5年度第4回会議）

8月25日 審議（令和5年度第5回会議）

※ 審査請求人から意見陳述の希望がなかったため、意見の聴取は行わなかった。

2 本件諮問について調査及び審議を行った部会

第1部会（部会長 北村 和生）